第12章　　令和３年度決算報告

１ 概　要

当院では、“患者本位の医療”“良質な医療”“行政サービスという自覚を持った医療”の提供という３つの理念の下、地域の基幹病院として医療体制の充実、医療及び看護水準の向上、地域の医療機関との病診連携の推進、そして施設設備及び高度医療機器の整備に努めてまいりました。

本年度も引き続き新型コロナウイルス感染症対策を講じながらの病院経営となりました。徹底した院内感染対策でクラスター等の重大な事象を起こさず、通常の診療を継続させると同時に、感染対策病床として最大20床の受入れ体制を整備し県の協力医療機関として富士医療圏域の陽性患者の受入れ、疑似症患者の対応等、地域の基幹病院としての役割を果たすことができました。また、ワクチン接種の開始に伴い、集団・個別接種会場の機能や医療職員の市内接種会場への派遣協力等、新型コロナウイルス感染症に対する感染予防対策も実施しました。

診療体制については、医師確保対策の成果により整形外科、泌尿器科の体制が安定したことで、コロナ禍においても前年度よりも医業収益が増加しました。入院では、新型コロナウイルス感染症患者等の受入病床確保の影響を受けた診療科もありましたが、全体的には前年度よりも患者数を伸ばすことができました。また、外来では、過去５年間の中で最も多い患者数となりました。

特に産婦人科においては、市内開業医の分娩業務中止により医療機関としての分娩を扱う施設は市内で当院のみであり、周産期を担う役割は非常に大きいものとなりました。

この他、人材確保対策として、将来の看護師等の確保を目的とした修学資金貸与制度に基づき、本年度は新たに看護学生６人に対して修学資金を貸与しました。

また、医療機器整備事業として、「ＰＡＣＳシステム」をはじめとした機器の更新を行い、最新の医療機器による効果的な診療が行えるよう努めました。

入院部門は、年間延べ患者数 89,278 人（1 日平均 245 人）で対前年度比 1,026 人増加（1.2%増）し、病床稼働率は 64.3%で対前年度比 0.7 ポイント増加となりました。平均在院日数は 10.9 日で対前年度比 1.4 日減少し、患者一人一日当たりの診療収入額は、57,876 円で対前年度比 1,445 円増加となり、これにより入院収益は、対前年度比で１億 8,688 万８千円の増加（3.8%増）となりました。

外来部門は、年間延べ患者数 132,443 人（1 日平均 548 人）で対前年度比 7,927 人の増加（6.4%増）、患者一人一日当たりの診療収入額は 25,774 円で対前年度比 666 円増加となり、外来収益は、対前年度比で２億 8,726 万２千円の増加（9.2%増）となりました。

一方、医業費用については、人員増等により給与費が増加及び医業収益の増加に伴い材料費が増加したため、費用全体では、前年度より増加いたしました。

この結果、令和３年度決算は 4,003 万８千円の純利益となり、これに過年度からの繰越欠損金 46 億 9,316 万７千円を加えた当年度未処理欠損金は 46 億 5,312 万９千円となりました。

２ 収支状況　　※参考　後頁　表「過去５年間の収益的収支の推移」等

(1) 事業収入

医業収益は、対前年度比 6.2%（5 億 782 万４千円）増加し、87 億 4,065 万７千円となりました。また、医業外収益は、対前年度比 25.4%（4 億 3,765 万円）増加し、21 億 6,055 万９千円となりました。病院事業収益全体では、対前年度比 7.8%（7 億 8,973 万３千円）増加し、109 億 363 万６千円となりました。

(2) 事業費用

医業費用は、対前年度比 6.4%（6 億 2,631 万２千円）増加し、103 億 4,746 万２千円となりました。また、医業外費用は、対前年度比 11.1%（4,580 万６千円）増加し、4 億 5,787 万１千円となり

ました。病院事業費用全体では、対前年度比 7.8%(7 億 8,973 万 3 千円)増加し、109 億 363 万 6 千円となりました。

3 資産等の取得状況

令和３年度中に取得した資産等（１件 100 万円以上）は、以下のとおりです。

(1) 改良工事 （単位 円）

名　　称	金　額
１階照明器具ＬＥＤ化工事	28,710,000
高架水槽更新工事	43,945,000

(2) 医療器械器具 （単位 円）

名　　称	金　額
ＰＡＣＳシステム	199,100,000
走査型超広角眼底撮影装置	23,485,000
多人数用透析液供給装置	8,470,000
超音波画像診断装置	7,073,000
減圧沸騰式洗浄器	6,512,000
CO_2 レーザー手術装置	5,456,000
電動リモートコントロールベッド(14 台)	5,436,200
超音波画像診断装置	5,423,000
送信機（10 台）	3,811,500
送信機（9 台）	3,445,200
ベッドサイドモニタ（2 セット）	2,783,000
保温庫、保冷庫	2,310,000
創外固定器	2,027,960
創外固定器	1,744,820
ATS4000 タニケットシステム	1,576,058
新型コロナウイルス検査機器	1,433,850
除細動器	1,375,000
検定付電動スケールベッド	1,106,600
フロア型冷却遠心機	1,071,400
放射線治療用患者固定具（5 枚）	1,023,000

(3) 備品 （単位 円）

名　　称	金　額
無停電電源装置バッテリー	3,080,000
モバイルパソコン用大容量バッテリー(21 台)	1,593,900
インターネット用通信機器	1,096,700